

あしや 市議会 だより

2022年11月 No.122

みどりいっぱい 緑保育所



緑
保育所

芦屋浜の住宅地内にあり、遊歩道を通って安全に、お散歩や公園に行くことができます。所内にも金魚のいる池や季節を感じる畑や果樹園があり、みどり(自然)あふれる環境です。さまざまな遊びを通して、子ども一人一人の気づきや発見、感じ考える力を大切に教育・保育を行い、豊かな心と元気な体を育てています。

●注目の議案をPick up ●令和3年度決算 ●一般質問

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。

ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

令和4年
9月定例会
8月29日～
10月7日
(40日間)

9月定例会では全部で18件(市長提出議案:15件、請願:2件、陳情:1件)の議案等が審議されました。今号では、この中から2つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第50号議案)

光熱費等に係る価格高騰対応、証明書自動交付機の設置やオンライン授業環境拡充等に係る補正予算

可決
(全員一致)

【内容】

光熱費等に係る価格高騰対応、物価高騰に係る支援、感染症対策に係る事業およびその他の各事業費の追加を行うもの

委員会での質疑

■光熱費等に係る価格高騰対応

議員 市庁舎等の電力需給契約の相手方の経営破綻により、新たな契約による電力を購入することとなったが、電力自由化によるリスクについて、どのように認識しているのか。

市 契約に含まれている最終保障約款に基づき、電力供給が滞るといった最悪の状況に立ち至らないようにはなっているが、新たな電力事業者と契約するまでは高い価格の電力を購入することになる。

議員 今後も適正な価格で電力供給を受けられるのか。

市 電力自由化による一定のリスクはあるものの、入札を行い、できる限り安い価格で電力供給を受けられるよう努めている。

■証明書自動交付機導入事業

議員 市庁舎にコンビニ交付対応の証明書自動交付機を設置することによる導入効果や目標設定をどのように考えているのか。

市 コンビニでの証明書の交付率を上げていくとともに、マイナンバーカードの登録者数も増やしていくことにつなげていく。

議員 既にコンビニに証明書自動交付機が設置されているにもかかわらず、市庁舎内に新たに自動交付機を設置するのはなぜか。

市 コロナ禍における感染拡大防止対策として設置するとともに、来庁された方に自動交付機を体験していただくことにより、証明書発行にかかる待ち時間を減らす等の市民サービスの向上を図るものである。

議員 自動交付機の交付対象に戸籍謄本等の秘匿性の高いものを含めているが問題はないのか。

市 現行のコンビニ交付においても交付対象としている中で、今後も検証はしていく。

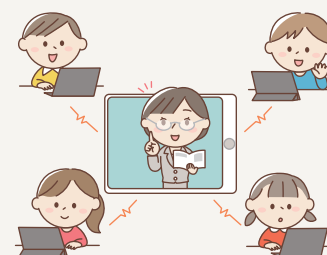
■オンライン授業環境拡充事業

議員 オンライン授業の実施に向けた進捗状況はどのようになっているのか。

教委 各学校内における検証を重ねた上で、本年9月中には保護者に対し周知し、各学校・各クラスの実態に合わせて対応していく。

議員 オンライン授業の実施に伴う現場の教員の負担を軽減するためにどのような対応を行っているのか。

教委 打出教育文化センターで配置しているICT支援員が現場の困り事を聞き、サポートに入ることとしている。



「市に対する要望」

●授業を動画化することは繰り返し見返すことができ、自宅学習の大きなプラスになるため、オンライン授業の実施を進めることと合わせて準備を進めてほしい。

Pick up2

(第49号議案)

JR芦屋駅南地区の駐輪場を拡張・廃止

可決
(全員一致)

【内容】

JR芦屋駅南地区第一種市街地再開発事業に伴い、JR芦屋駅南地区の駐輪場1・3を拡張し、2を廃止するもの



委員会での質疑

議員 この駐輪場はJR利用者のためのもので、本来はJRが顧客サービスとして整備すべきであり、再開発事業を進めていく中でも、JRに対して毅然とした態度で臨んでほしいが、どのように考えているのか。

市 JRに駐輪場の運営をしてもらえば非常に助かるが、一時的な敷地の貸与も受けており、引き続きJRと連携して駐輪対策を行っていく。

議員 駅前線の仮歩道はこれ以上整備しないのか。

市 本格的な工事に入るまでの一定期間だけでも、必要最低限の費用で歩行者の安全を確保するため、現在のような仕様になっており、駐輪場2の廃止後、北側への延長は行いが、現在整備済みのところに関しては、これ以上の整備は行わない。

議員 駐輪場の拡張、廃止に伴って、どのような周知、広報を行うのか。

市 廃止する駐輪場に貼り紙をし、加えて指定管理者による個別対応を行っていく。

行政視察を行いました

芦屋市議会では、市政における課題の解決を図り、その発展のため、他市の先進事例を調査する行政視察を実施しています。詳しくは市議会ホームページの「視察報告」(右記QRコード参照)をご覧ください。



建設公営企業常任委員会

長崎県大村市・長崎市

7月28日～29日



両市で、立地適正化計画について視察を行いました。
大村市は、交通アクセスの利便性・優位性があり、さらに北部地域では住宅地開発が進むことから、人口は芦屋市と同程度でありながら、増加がまだまだ見込まれる計画となっており、大変参考になりました。

長崎市は、市内の大部分が斜面地であり、立地適正化計画によって山手から市中心部へ居住度を誘導する取り組みを行っていますが、現実的には困難であることから、斜面地においても安心・安全が確保できるような制度を準備するなど、さまざまな工夫をしており、本市でも取り入れられるものがあるのではないかと感じました。

民生文教常任委員会

香川県高松市・広島県東広島市

8月3日～4日



高松市では、子ども・子育て条例について視察を行い、条例ができた当初は、子育て支援の拡充段階で人口の流入も見られましたが、少子化の影響で、現在は減少傾向にあり、ヤングケアラー支援の必要性が注目されていることから、虐待や貧困対策と同様に位置付けて取り組みの強化を検討しているとのことでした。

東広島市では、ごみ処理施設(広島中央エコパーク)の視察を行い、同施設は汚泥処理施設も併設され経済的であり、また、発生した脱水汚泥も助燃剤として使用するなど、溶融・資源化することでゴミを排出しない先進的な循環型社会の取り組みを実現しているとのことでした。

※総務常任委員会(10月実施)、議会運営委員会(令和5年1月実施予定)の行政視察については、次号掲載予定です。



令和3年度(2021年度) 決算を認定しました



決算の概要はコチラ↑

●審査体制

決算特別委員会は、議会選出の監査委員(長谷基弘)を除く19名の議員で構成(委員長:米田哲也、副委員長:中村亮介)し、各常任委員会のメンバーで分担して決算審査を行いました。このような審査体制を取ることで、決算を審査した議員が来年3月の予算審査の際に次年度予算も審査できるため、政策的な一貫性を持って審査に臨むことが可能となっています。

●決算収支の概要

	一般会計	特別会計	財産区会計
歳入総額 (前年度比)	481億4,435万3千円 (101億2,794万8千円・17.4%減)	230億5,822万7千円 (13億6,780万2千円・6.3%増)	8,840万1千円 (1,543万4千円・21.2%増)
歳出総額 (前年度比)	442億4,808万1千円 (118億6,595万9千円・21.1%減)	219億1,469万9千円 (7億8,202万9千円・3.7%増)	483万5千円 (128万円・20.9%減)

芦屋市議会が チェック!!

審査の過程で委員からどのような指摘や要望があったのか、その一部を紹介します。
なお、本会議での各会計決算に対する賛否は、11ページ「審議結果一覧」をご覧ください。

◆は令和3年度に実施された事業など ●は委員からの指摘・要望事項

新型コロナウイルス感染症への対応

生活支援

- ◆子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給
- ◆新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給
- 申請主義のため、本来支給されるべき世帯に届いていないことも推測される。今後同様の事業を行うに当たっては、周知の徹底等により丁寧な対応を求める。

事業者への支援・ワクチン接種・その他

- ◆芦屋市一時支援金事業
- ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業については、今後もさらに安全に留意し取り組むよう求める。
- 市内学校の全ての普通教室、体育館、特別教室、職員室にアルコールディスペンサーの設置が行き届くよう要望する。

決算に対して会派から一言

自由民主党

賛成

一般会計をはじめ決算全般については、黒字決算となり、財政指標の状況についても好転したが、市民税収入の堅調が要因であり、市の施策での成果かどうかは精査が必要である。今後は社会情勢のさまざまな要因が連鎖して生じる収入減から市民税の減収が懸念される。行政改革の手綱を緩めることなく、堅実な財政運営に努めるとともに、新たな財源の創出も必要である。全職員が市民全体の奉仕者としての職責を全うし、市民サービスの向上に向けての一層の努力を要望する。

日本共産党

賛成

コロナ禍の下で、市民にとっても行政にとっても大変な中、事業者への市独自給付などが実施されたが、市民への生活支援では努力の余地を残した。国が進める行政デジタル化への対応では、市の独自施策に制約をつくり、行政が保護してきた市民の個人情報の侵害について市としての危機意識が問われた。個人責任の強調や効率最優先の新自由主義的思考を行政全体として払拭することが課題である。憲法擁護・堅持の姿勢で平和をはじめ人権保障にさらに取り組んでいくことを求める。

公明党

賛成

財政の弾力化構造の指標である経常収支比率が改善している。しかし種々の要因があったとはいえ人件費が4%も伸びているのはどうしたことか。今後も改善トレンドが続くとは思えない。つまり新規の大型投資事業や公共施設の維持更新に支障を来しかねない要因をはらんだ財政構造だということである。企業からの税収がほとんどない本市にとっては今後、退職者が増え、市民税の収入減が見込まれ、将来、税収の下振れはあっても上振れはないことを肝に銘じ、行財政改革の実行を求める。

美しいまちなみを守り、磨き上げるまちづくり

- ◆芦屋市霊園合葬式墓地等建設事業
- ◆第一跨線橋対策事業
- ◆一般廃棄物処理基本計画策定支援および指定ごみ袋導入検討業務



撤去が予定されている第一跨線橋

- 合葬式墓地は初年度から1,200件を超える使用と上々の滑り出しとなり、時代のニーズに則した行政サービスが提供できていると評価しているが、早期に需要を満たすことが考えられるので、今後の動向を注視されたい。
- いまだに第一跨線橋が取り壊しになることを知らない市民がほとんどであり、特に地域住民への説明会の実施、全市民に向けた周知、広報を行ってほしい。
- 市民のごみ削減の意識をさらに高めるようごみの出し方にとどまらず、どのように処理されていくのかも周知するよう求める。また、指定ごみ袋の導入に当たっては市民に丁寧な説明と理解を求める取り組みを行ってほしい。

一人一人に寄り添い、誰ひとり取り残さない 多様性のある社会づくり

- ◆がん患者アピアランスサポート事業
- ◆若者相談窓口業務
- 経済的支援とともに心の負担を軽減するためにも所得制限をなくすよう求める。
- ひきこもりの実態調査を行うことを求める。若者相談センター「アサガオ」の認知度が非常に低く、さらなる周知の工夫、相談窓口の場所の見直しを求める。

子どもたちが安心して暮らし、学べる環境づくり

- ◆精道こども園での病児保育事業
- ◆GIGAスクール構想関連事業(1人1台のタブレット端末を配備・活用)
- ◆精道中学校建替工事

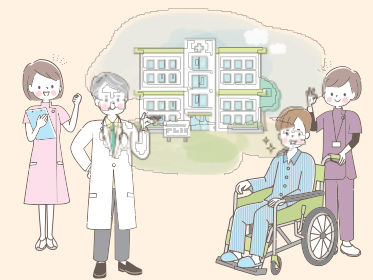
- 病児・病後児保育ルーム「ひだまり」の開設で2カ所となり保護者は安心である。さらなる充実を求める。
- ICT化をすることによって教師の負担がさらに増えてはいないか。少人数学級の早期実現を求める。
- インクルーシブ教育、外国籍の児童支援に必要な加配職員の配置については、積極的に要請してほしい。
- 学校設備や体育館等の老朽化による施設の補修工事については、単発的な工事で応急処置の回数が増え、経費が多くかかるようであれば、建て替えを見込んだ検討を早めた方が長期的に見て無駄が省けるのではないか。



タブレットを活用した授業風景

病院事業会計

- 病院ネットワークバスのルート拡大に向けて検討してほしい。
- コロナ禍での経験を踏まえ、今後も市からの積極的な財政等の支援を求める。



— その他の主な事業 —

- ◆市制施行80周年記念事業
- ◆合理的配慮提供支援助成事業
- ◆西藏こども園での一時預かり事業
- ◆ICT機器等を活用した就学前教育・保育事業
- ◆山手中学校耐震性貯水槽設置事業
- ◆市立幼稚園3歳児保育の試験的实施
- ◆電子図書館サービス事業など

一般質問

9月7日から9日までの3日間に18人の議員が、
計42項目の一般質問を行いました。
内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。

詳しくはコチラから↓



福井 美奈子

自由民主党芦屋市議会議員団

地域公共交通の課題について

議員 バス路線がない地域の高齢者は、高齢者バス運賃助成を受けられずに地域間格差が生じている。是正に向けた今後の取り組みと路線バスに代わる交通手段の検討結果を問う。



市 他の自治体の動向も踏まえ、金券や他のバス事業者の利用など、さまざまな方法を検討しているところである。コロナ禍で外出を自粛されている高齢者のフレイルの進行が懸念されるため、より多くの方にご利用いただける制度となるよう年内には一定の方向性を見いだしたい。

学童保育について

議員 精道小学校の学童保育（ひまわり学級）では定員を超える受け入れを行っており、環境整備を求める声が届いている。市の見解と今後の対応策を問う。

教委 ひまわり学級では、今年度は2学級で116名の児童が登録しているが、基準条例の範囲内で事業を行っている。学級の状況としては、学級以外に算数教室や体育館に分散するなど、日々の過ごし方を工夫しており、今年度は引き続き現状の2学級で運営していく。



◆その他の質問

・市内公衆電話の利活用について

長合 基弘

あしやみんのこえ

ペット（動物）と共に暮らせるまちを

議員 ペットへの理解を深め、人に優しいまちとなるようドッグランの設置を求めるが、どうか。



市 ドッグランは、総合公園の活性化策の一つとして、指定管理者とともに、その整備の方向性について、地域と協議を進めているところである。

議員 犬の散歩時や猫への餌やりなど、一部の方のマナーの悪さもありトラブルの原因となっている。抜本的な解決策はないのか。

市 「お散歩マナー向上モデルロード」が平成30年4月に開通して以降、周辺でのふんの放置に関する相談件数は大きく減少していることから、マナー向上の啓発におけるモデル事例として今後も生かしていく。併せて、兵庫県の「動物愛護管理推進計画」などの取り組みを周知啓発していくとともに、個別の事案については、状況を把握し、対応していく。

音楽・芸術でまちの魅力アップを

議員 音楽のまちとして、芦屋市にもストリートピアノを設置してはどうか。

市 ストリートピアノは、さまざまな人が往来する公共の場所に設置することから、協力機関と協議しながら、今後研究していく。



川上 あさえ

自由民主党芦屋市議会議員団

大学等受験料支援金給付制度について

議員 経済的理由で進学が困難な方に受験料を給付する制度だが、対象は大学や短大等に限定されている。省庁大学校や専門学校にも拡充できないか。



教委 大学等受験料支援金給付制度は、今年度に運用を開始したところであり、現在のところ、拡充は考えていないが、今後も国や他市の動向を見ながら情報収集・研究に努めていく。



ふるさと納税について

議員 在勤者や来訪者が市内店舗で使えるポイントが付与される「電子感謝券」を活用すれば消費活性化につながると思うが、どうか。

市 電子感謝券については、来訪者等がその場で寄付をし、ポイントが付与されるという点で、即時性があり効果も上がっていると聞いている。今後、先進市の状況や使い方について、調査・研究していく。

◆その他の質問

・大規模停電時の備えは大丈夫か
・部活動の地域移行について

浅海洋 一郎

日本維新の会

Decidim（ディシディム）の活用について

議員 Decidimというインターネットで住民意見を集めるデジタルプラットフォームがあり、気軽にネットから市政について話し合える環境づくりを進めていくことができる。先進事例では若年層の参加も見られたことから、デジタル導入が進めば市民参画の新しい場づくりにつながるのではないかと考えるが、どうか。



市 市民意見は「市民参画及び協働の推進に関する条例」に基づき、意見募集を行い、集約に努めているところである。計画策定の過程では、審議会やアンケート、ワークショップなど段階ごとに集約した市民意見を素案に反映し、パブリックコメントを実施しているが、より幅広い世代の市民意見を集約する手段の一つとして、デジタルの活用も含めた新たな手法についても研究していく。

米田 哲也

自由民主党芦屋市議会議員団

踏切内の点字シートについて

議員 奈良県内で全盲の女性が行った踏切内での電車と接触し、死亡する事故が起きた。それを受けて伊丹市では県内で初めて踏切内に点字シートが設置された。このような事故を二度と起こさないためにも、また、ユニバーサル社会づくりの観点からもできるだけ早い設置をお願いしたい。



市 踏切内の点字シートは、国における仕様の確定を待って、市内15カ所の踏切に優先順位を設け、鉄道事業者および障がい団体と設置に向けた協議を進めていく。



伊丹市の踏切内点字シート

子ども家庭庁の設置について

議員 設置に伴い市が期待することや懸念されることは？

市 子ども家庭庁の設置により、制度や組織の縦割りにによる弊害の解消や行政事務の負担軽減、制度の狭間に対する課題への対応が期待できる。ただ一方では、幼児教育や学校教育については引き続き文部科学省が担うことになるため、これまで以上に教育委員会や関係部局との連携が重要になると認識している。

大原 裕貴

日本維新の会

高齢者バス運賃助成制度の今後の方向性について

議員 当該制度は導入以後、予算総額が増加傾向にあることが課題であり、今後もその傾向はしばらく続くことが予想される。少子高齢化が進み、現役世代の負担が増すことを考えると、制度の効果の見える化が求められる。制度の目的を明確にし、効果測定を行う必要があると考えるが、市の見解は？



市 これまで利用実態の分析のほか、3年ごとに実施する「すこやか長寿プラン21」策定時のアンケート調査で、市内高齢者の外出頻度や移動手段の把握を行ってきたが、これに加えて、コロナ禍の外出自粛による高齢者のフレイルの進行など、新たな課題を加味した検証を進めていく。



決算ベースの事業費の推移
コロナ禍の影響が出ている2020年を除き、徐々に事業費が増えている。

◆その他の質問

・市民マナー条例の効果を上げる取組について

議員 コロナ治療薬の現状は？

病院 薬が必要と判断された方には、芦屋市薬剤師会と連携して、自宅に届ける体制を整えている。また、入院患者に必要な薬も十分な在庫を保有しており、現時点で、近隣の医療機関からも薬不足の声は上がっていない。

議員 無料の抗原検査キット配布の効果は？

市 キットの配布は、軽症の有症状者を対象としており、医療機関を経由せず検査および自主療養が可能となるため、医療機関の負担は一定軽減されるものと考えている。

議員 自宅療養者は健康観察もなく、物資が届かない場合もある。本市独自の食料支援等は考えていないのか。

市 自宅療養となられた市民への食料品等支援セットを県に協力して配送しているが、療養者に関する正確な情報を得られる立場にないことから、本市独自の食料支援等は予定していない。

議員 救急体制の現状は？

市 救急出動は第5波・第6波に比べ増加しており、搬送困難事例等もあるが、県や健康福祉事務所と連携し対応している。

議員 子どものSOS相談窓口体制や関係機関との連携は？

教委 国・県に寄せられている相談は、情報を共有し、市としての対応につなげている。併せて、子ども家庭総合支援課など、関係機関との連携を図っている。

利用者目線のまちづくり

議員 少子高齢化と言われている中で南芦屋浜地区の人口は増え続けているが、税収が増加傾向の地域で暮らす人々の声は満たされておらず、ファミリー層に人気の立地を生かせていない。地域の不公平感をなくしてこそ福祉の助け合いにつながるのではないかな。



市 南芦屋浜地区は「生活者の視点に立った多世代循環型の交流とにぎわいのあるまちづくり」を理念とし、緑豊かで落ち着いた中に風格のある、質の高い住環境の整備に取り組んできた。この理念を継承し、住み続けたいまちとしての住環境の向上に努める。

議員 小学校建設をしない代わりにスクールバスで通学を行う話はどうだったのか。

市 過去の意見交換会の中でも、南芦屋浜地区のまちづくりに関する意見や要望が出ていたが、これまでもそれらを踏まえながら取り組んできていて認識している。

◆デメリット

小学校までの道のりが遠い

①健康被害 ②車の送迎が増える ③トイレ問題 ④集団登校によるトラブル

小学校建設が白紙撤回になったことによる弊害

◆その他の質問

・交通事故を防ぐための自動車への注意喚起

・地区防災計画に対する公助の在り方

いのちと暮らしを守る施策を

議員 自宅療養者へ食料等の物資が迅速に届くよう県との連携を進めるとともに、市独自の支援を求める。



市 自宅療養となられた市民への食料品等支援セットを県に協力して配送しているが、療養者に関する正確な情報を得られる立場にないことから、本市独自の食料支援等は予定していない。

議員 消防職員の定数は条例を改正し増員を求める。

市 今年度において既に条例定数に達しており、現場に専念できる体制を構築している。今後も検証しながら対応していきたい。

議員 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを各校に配置できるように増員を求める。

教委 国・県へ配置人数等の強化を引き続き要望している。

議員 市内の中小事業者を守るために「インボイス制度は中止を」と国に求めよ。

市 来年10月からの導入の際に一定の影響がある可能性は否定できないが、現時点では市内の事業者から意見等は出ていないと商工会に確認している。

議員 加齢性難聴者に対する補聴器の購入助成を求める。

市 全国市長会から国に対し補助制度を創設するよう要望しており、市が単独で補助を行う予定はないが、引き続き、国や他の自治体の動向を注視していく。

物価高騰対策と公共交通機関の支援について

議員 国の原油価格・物価高騰対策に対する市の考えは？



市 国では、影響を受けた生活者や事業者の負担軽減に資する施策を講じているが、これに加え、「新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金」の趣旨を踏まえ、本市として、今後も真に必要な方に支援が確実に届くよう、必要な施策を適時講じていく。

議員 コロナや燃料高により、電車・バス・タクシー等の事業者の財務状況が悪化し、運賃が上がり、家計の負担が増えることは避けなければならない。今まさに、市民の移動手段である公共交通機関を支援すべきではないか。

市 現状、国では、タクシー事業に対する燃料価格激変緩和対策事業を行い、県では、原油価格高騰に対する公共交通等事業者への支援や便数を減らさずに運行を行っている地域公共交通事業者への支援を行っている。本来的には広域的な支援は国や県が行うべきであると考え、本市としては、優先順位を付けて市民のために何ができるのかを考えていきたい。

議員 阪神7市1町の支援状況は？

市 ほとんどの市町が何らかの対応を検討し支援を実施されようとしているが、今後、各市町の状況も踏まえ、他の支援策よりも公共交通機関への支援を優先すべきとの判断に至れば、そういった提案をさせていただく。

物価高対策について

議員 公明党が主導的役割を担い、コロナウィルス対策・物価高対策のために創設された地方創生臨時交付金の使途は、本市の財政の助けとなる施策ではなく、西宮市のように、給食費の無料化など、市民が直接受益を感じられる施策とすべきではないか。例えば、水道料金の減免、プレミアム付き商品券などを考えてはどうか。



市 現状の物価高騰は、市民生活に深刻な影響を及ぼしており、本市としても継続した支援が必要であると認識している。常に暮らしの状況を注視していく必要があると感じており、臨機応変に判断していく。

個別の市民に支援を行っている自治体もあるが、それが果たして事業者への支援につながるのかは疑問であり、市民サービスの停滞を招かないよう、事業者支援を行っているのが本市の特徴である。12月の補正予算に向けて、徹底的に点検を行った上で、臨時交付金が無駄にならないよう、執行に努めたい。



◆その他の質問

・リトルベビーハンドブックについて

・マッスルスーツの導入について

グリーンケア、行政も支援を

議員 家族やかけがえのない人との死別は、グリーフ（悲しみや喪失感）を生む。適切なケアがないとさまざまな不調要因となり、死別理由によつては半数が要治療になると言われているが、その情報に触れる機会は少ないのが現状だ。市の遺族支援への認識は？



市 グリーフケア、遺族支援は、かけがえのない人を亡くされ、喪失と立ち直りの思いとの間で揺れ動く悲しみへのケアで、その方への寄り添いは大切なものと認識しており、それぞれの担当業務の中で、個別に支援や相談対応を行っている。



議員 行政として、相談窓口の情報発信に努めるべきではないか。

市 ホームページには、こころの整理相談や法律相談などの一覧を掲載しているが、簡潔にしか書かれていないため、見せ方は工夫していく。

議員 遺族外来を設置できないか。

病院 芦屋病院では精神科外来を置いていないため、市として、精神科医や臨床心理士などを中心とする外来を設置しない限り難しい。

戦争経験を通じた平和教育を

議員 高齢化により戦争の記憶が風化される中、その惨禍を次世代に伝えることは大切な取り組みである。戦争を通じた平和教育をどう伝承しようと考えているのか。



市 戦争体験者が年々減少していく中、戦争の悲惨さを後世に伝えていくため、体験者の話を広報あしや、平和記録集などに掲載してきた。

古写真収集で郷土史伝承を

議員 郷土史を伝承する上で古写真は貴重な資料となる。市民からの提供を呼びかけ、デジタル化して収集・保存を推進する考えは？

教委 古写真等の画像は、本市の近現代を語る上でかけがえのない貴重な資料であるため、これまでも収集してきたが、今後も積極的に収集を行い、次世代への継承に努める。



1920年頃の阪神芦屋駅付近
白黒写真をAIでカラー化したもの

住みやすい、住み続けたい、さらに安全なまちを目指して

議員 市内住宅の約7割を占めるマンション等の老朽化と耐震不足対策は？



市 耐震診断や改修工事等への補助事業を推進するとともに、広報紙やSNS等による啓発、分譲共同住宅耐震化アドバイザー派遣等を行っていく。

議員 電話での認知症簡易チェックはできないのか。

市 簡易チェックは市ホームページで公開しており、電話を活用した認知機能チェックの導入までは考えていない。

議員 亡くなられた方のご遺族の窓口負担の軽減策は？

市 来年度の実現を目指し、おくやみ手続のスマート化を進めているところであり、現時点では、専門部署の設置までは考えていない。

議員 水道橋バス停の歩道の自転車走行対策は？

市 バス停に滞留する人と歩道を通行する人の分離を図る対策を検討している。

議員 危険な日出橋交差点内バス停は早急に移設すべきではないか。



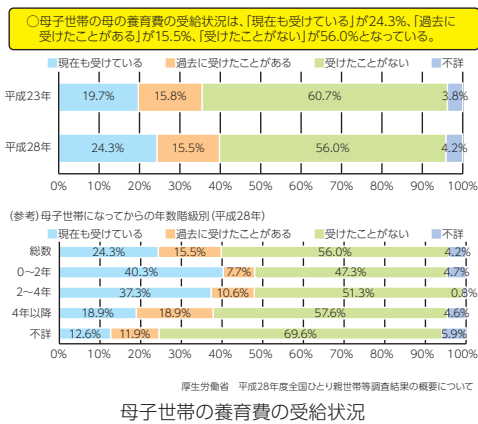
日出橋バス停は、横断歩道の先のT字交差点内に設置され、極めて危険な状態が続いている。

養育費を確保するために

議員 母子家庭で養育費の支払いを受けているのは、わずかに4分の1という調査結果がある。養育費を確保することは、生活基盤を支え、子どもの貧困を防ぐことにもつながる。ひとり親家庭の支援として、養育費の取り決め内容を確保するため、公正証書等の作成にかかる本人負担費用を補助する制度の創設を求める。



市 養育費の確保は、ひとり親家庭の生活基盤を支える上で重要であると認識している。現在は、兵庫県婦人共済会が実施する、ひとり親家庭等特別相談事業の弁護士相談につないで対応しているが、近隣では、養育費に関する公正証書等作成費用の補助事業を始める自治体も増えており、本市でも来年度の実施に向けて準備を進めている。



◆その他の質問

あしや温泉について ほか

▶ 審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
条例の一部改正			
45	議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び議員及び市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例	可決	公職選挙法施行令の一部改正を踏まえ、議員および市長の選挙における候補者の選挙運動用の「自動車の使用」および「ポスターの作成」並びに「ビラの作成」に係る公費負担の限度額を改定するもの
46	職員の育児休業等に関する条例	可決	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和する等のためのもの
47	職員の退職手当に関する条例及び市立学校職員等の退職手当に関する条例	可決	国家公務員退職手当法の一部改正を踏まえ、雇用保険の失業等給付に相当する退職手当について、支給期間に係る特例を設ける等のためのもの
48	手数料条例	可決	長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部改正に伴い、既存住宅の維持保全計画の認定に係る長期優良住宅建築等計画の認定申請手数料等に係る規定を整備するもの
49	自転車駐車場の設置及び管理に関する条例	可決	詳しくは3ページの「注目の議案」をご覧ください。
令和4年度補正予算			
50	一般会計補正予算(第4号)	可決	詳しくは2ページの「注目の議案」をご覧ください。
51	駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	J R 芦屋駅北駐車場における光熱費について、直近の電気価格の上昇に伴い追加するもの
令和3年度決算			
52	各会計決算の認定	認定	詳しくは4・5ページの「令和3年度決算」をご覧ください。
53	下水道事業会計決算の認定	認定	【総収益】29億810万円 【総費用】23億5,651万4千円 【差引収支】5億5,158万6千円の純利益 【当年度末処分利益剰余金】10億5,265万4,972円
54	下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	令和3年度決算において生じた未処分利益剰余金10億5,265万4,972円のうち、2億844万8,778円を資本金に組み入れ、5億5,158万6,536円を減価積立金に積み立てるもの
55	水道事業会計決算の認定	認定	【総収益】21億9,337万6千円 【総費用】19億840万6千円 【差引収支】2億8,497万円の純利益 【当年度末処分利益剰余金】3億6,995万5,948円
56	水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	令和3年度決算において生じた未処分利益剰余金3億6,995万5,948円のうち、3億円を減価積立金に積み立てるもの
57	病院事業会計決算の認定	認定	【総収益】59億4,795万4千円 【総費用】57億6,949万6千円 【差引収支】1億7,845万8千円の純利益 【当年度末処理欠損金】117億2,606万3千円
その他			
43	教育委員会委員の任命	同意	令和4年10月1日をもって任期が満了する委員の次期委員を任命するもの
44	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	令和4年12月31日をもって任期が満了する委員の次期委員を推薦するもの
請願			
12	狭急坂行止道路における2階建8軒長屋計画に関する請願書	採択	三条町の長屋の建設計画について、消防の消火活動や周辺の住環境、また、通行の安全確保の観点等から、住みよいまちづくり条例を厳正に適用するとともに、建築主に近隣住民に対する説明会を実施するよう、行政としての指導を求めるもの
13	楠町西地区賃貸マンション建設に関する請願書	採択	楠町の賃貸マンションの建設計画について、建築主、住民間において、建設に伴う疑問や紛争を生じることなく、お互いに歩み寄れる方策を検討するため、引き続き十分な話し合いが持たれるよう、建築主、行政に対応を求めるもの
陳情			
18	電動キックボードに押し歩きを求める市条例の制定を求める陳情書	結論を得ず	電動キックボードに係る法改正に対応し、西宮市と連携し、電動キックボードで歩道を走行する際は押し歩きをするよう求める条例の制定を求めるもの

※1 緑色は「賛否の分かれた議案」を表しています。 ※2 陳情は建設公営企業常任委員会での審査結果です。

▶ 賛否の分かれた議案

●9月定例会で賛否の分かれた議案の採決の結果は次のとおりです。

会派名	自由民主党 芦屋市議会議員団					日本共産党 芦屋市議会議員団		公明党		あしや しみのこえ		日本 維新の会		会派に属さない 議員			議決結果			
議員名	川上あさえ	福井利道	米田哲也	福井美奈子	松木義昭	川島あゆみ	ひろせ久美子	平野貞雄	徳田直彦	帰山和也	田原俊彦	長谷基弘	たかおか知子	中村亮介	浅海洋一郎	大原裕貴	山口みさえ	寺前尊文	中島健一	青山暁
議案番号	結	賛	反	棄	結	賛	反	棄	結	賛	反	棄	結	賛	反	棄	結	賛	反	棄
第45号議案	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○
第52号議案	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※「○」…賛成、「×」…反対、「—」…議長(議長は表決に参加しません。)

政務活動費あり方検証検討会議を設置しました

政務活動費の適正な執行と使途の透明性の確保に努めるため、本年8月に「政務活動費あり方検証検討会議」を設置しました。使途基準が社会情勢に適しているか、現行の運用の中から課題を抽出し対応方策を検討の上、マニュアルの見直しを行うことなどを目的としています。

※政務活動費とは、会派または会派に所属していない議員に対して、「市政に関する調査・研究その他の活動に資するために必要な経費の一部」として、地方自治法等に基づき、支給される交付金のこと。



政務活動費あり方検証検討会議のメンバー
(左から川島議員、川上議員、青山副議長、たかおか議員、帰山議員、大原議員)

川島あゆみ 日本共産党芦屋市議会議員団

住民と一緒に取り組む「ごみ行政」を

議員 西宮市との広域連携ができなかった原因は？

市 広域化については、両市ともに一定のメリットがあるものであったが、本市は、広域化による効果額の配分については均等になるように、また、使途については地球環境問題に通じる取り組みやごみ処理を引き受ける施設に対する環境保全のために使うことを提案したが、合意に至らなかったためである。

議員 芦屋市単独で環境処理センターを建て替えることのメリットは？

市 独自でごみ行政に取り組めることであり、災害ごみに臨機応変に対応でき、また、ごみ処理に対する市民意識の向上につながるかと考えている。

議員 来年10月から指定ごみ袋が必需品となるが、生活困窮者への支援が必要ではないか。

市 生活困窮の相談の中で、施策の影響についても、庁内で連携しながら意見を聞いていく。

議員 指定ごみ袋の導入によって、ごみ置き場を管理する各自治会等に負担が生じると思うが、対応策は？

市 新たな負担を増やさないよう、導入開始までに制度の周知に努めたい。また、分別の徹底が進むことで、今よりも負担が減るようにつなごう。

◆その他の質問
・公営住宅の課題について

平野貞雄 日本共産党芦屋市議会議員団

行政のデジタル化における地方自治と市民の個人情報保護を

議員 デジタル化は社会進歩だが、行政のデジタル化は「住民福祉の増進」につながってこそ、公務の事務効率化も意味を持つ。しかし、国は個人情報保護から利活用に転換し、地方もそれに従わせるなど、地方自治と個人情報の侵害が懸念される。どう対応するのか示されたい。

市 情報システムの標準化については、国から全対象業務の標準仕様書が8月31日に示されたところであり、今後、その内容の確認作業を速やかに進めていく。

国は地方自治体の実情を踏まえ、システム標準化の基本方針や標準仕様書の策定過程の都度、意見を聞く機会を設け、丁寧に進めているので、機を逸することなく、本市の実情を踏まえ、取り組んでいく。

また、個人情報保護制度についても、法改正に伴う制度の見直しを行っており、今年度中に行う条例の改廃に向けて慎重に検討している。市民参加の手法については、個人情報保護制度見直し後の内容である改正法に実施の基準が定められていることから、パブリックコメントを実施する予定はないが、制度改正の内容はホームページや広報を通じてお知らせする。

◆その他の質問
・マンション防災支援について
・環境行政について
・平和について

福井利道 自由民主党芦屋市議会議員団

市職員の責務と労働環境について

議員 本市では賃金不払い残業はないのか。

市 緊急やむを得ない公務がある場合には、所属長がその必要性を精査し、職員に時間外勤務を命じ、所定の手当を支給しており、賃金不払い残業はない。

教委 時間外勤務は所属長が業務の必要性、緊急性等を精査した上で、職員に命令することにより行い、所定の手当を支給しており、賃金不払い残業はない。

議員 始業時間前のパソコン作業や業務ミーティングが見受けられるが、見ないふりでは済まされない。勤務時間の管理は誰がどのようになっているのか。

市 所属長の指揮命令下で業務として拘束されているのであれば、時間外勤務となり、勤務時間の振り分けをすべき事象に当たるので、事実を確認し、適切に対応する。

議員 職員の平均的な時間外勤務手当の単価は？

市 2194円である。

議員 勤務時間の平準化とともに効率的な時間外勤務命令も管理者の仕事であるがどう考えるか。

市 職員が時間外に職場に居ることをもって、直ちに労務管理が不適切とはならないが、明示、黙示の所属長の命令によるものであれば、時間外勤務として適切に対応しなければならぬため、勤怠管理の適正化の観点から点検を加える必要性を認めるので、周知徹底を図っていく。

議会BCPの検証検討に引き続き取り組んでいます

令和3年度に引き続き、今年度も7月から「議会BCP検証検討会議」を設置し、「令和3年度の議会機能継続訓練における課題の検証を行い、対応方策を検討すること」、「令和4年度の議会機能継続訓練について検討すること」等を目的に協議を行っています。今後はオンライン視察や訓練等を行い、有事の際も議会を中断せずに議会運営を行うことができる体制づくりを目指していきます。



議会BCP検証検討会議のメンバー
(左からたかおか議員、ひろせ議員、福井利道議員、青山副議長、田原議員、浅海議員)

議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第40回

◆問題

【出題者】長谷基弘委員

兵庫県指定重要有形文化財で、18世紀後期に建てられたとする、かやぶき民家の「旧小阪家住宅」は、平成7年(1995年)まで芦屋市にありましたが、その場所はどこでしょうか。

- ① 山手町 ② 三条町 ③ 岩園町

◆前回のクイズの答え

※前回の応募件数は34件

「コロナ禍で実施を見合わせていた議会報告会を約2年半ぶりに、オンラインで開催しましたが、今回の議会報告会のテーマは何だったでしょうか。」の正解は「③JR芦屋駅南地区再開発事業について」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は2月発行予定のあしや市議会だより123号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長・副議長による抽選会

◆応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第40回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善の参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和4年(2022年) 12月2日(金)まで

※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス: gjityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報(賞品の発送以外)には使用しません。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード
(メールアドレス)

NEWS

旧小阪家住宅の視察を行いました

8月2日に、兵庫県立尼崎の森中央緑地へ行き、かつては芦屋市三条町に建てられ、その後、移築復原された、かやぶき民家「旧小阪家住宅」を視察しました。

当民家は平成7年の阪神・淡路大震災で全壊し、解体を余儀なくされ、部材は解体調査の後、芦屋市に寄贈され保管されてきましたが、平成28年に兵庫県が部材を譲り受け、その後、この緑地に里山の暮らしが体験できる施設として移築復原されました。

六甲山南麓で現存する江戸時代のかやぶき民家は、この建物だけであり、兵庫県指定重要有形文化財として指定されています。



12月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
11/28	29	30	12/1	2	3	4
議会運営委員会	本会議 (提案説明)	建設公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会		
5	6	7	8	9	10	11
委員会 (予備日)	議会運営 委員会	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問等)		
12	13	14	15	16	17	18
委員会 (予備日)						
19	20	21	22	23	24	25
議会運営委員会 JR芦屋南再開発 調査特別委員会 (午後1時から)	本会議 (採決)					

●本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

久しぶりに各委員会で視察に出向き、多くの学びがありました。また、会派等で視察を計画されているところもあるようです。行き先など、詳しくは市議会ホームページで視察報告書をご覧ください。また、政務活動費の在り方を検討しています。今の社会情勢なども考慮し、良い方向に見直しができるように努めます。

【編集委員】川島 あゆみ